

● 地域の犯罪情勢に即した総合的な犯罪抑止対策と子供・女性・高齢者を守る取組の推進

施策目標（PLAN）

地域に密着した活動と地域の実態に応じた積極的な街頭活動の推進

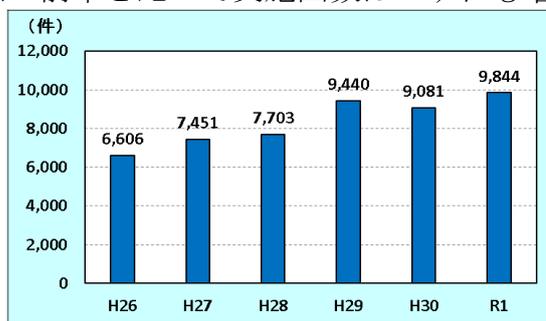
実施項目（DO）

- 1 地域の実態把握と住民の安心感を醸成する活動の推進
  - 移動交番車による防犯・交通安全講話及び住民との合同パトロールの実施
- 2 住民が解決を要望する治安上の問題を解決する活動の推進
  - 問題解決活動の実施、交番・駐在所連絡協議会の開催
- 3 地域の犯罪発生状況等に応じた犯罪検挙活動の推進
  - 地域警察官の刑法犯・特別法犯の検挙

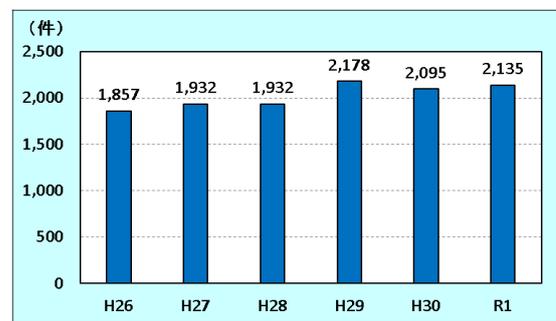
実績（成果）（CHECK）

- 1 移動交番車による防犯・交通安全講話及び住民との合同パトロールの実施

※ 前年と比べて実施回数はいずれも増加



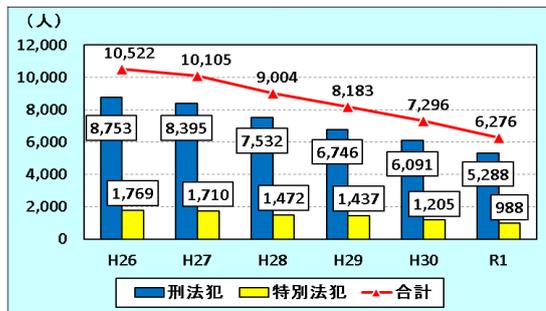
【防犯・交通安全講話実施回数】



【住民との合同パトロール実施回数】

- 2 地域警察官による積極的な検挙活動

※ 前年と比べて総検挙数、刑法犯検挙人員及び特別法犯検挙人員は減少



【地域警察官の検挙人員の推移】

- 総検挙人員 6,276人  
(前年比-1,027人、-約14%)

(内訳)

- ・ 刑法犯検挙人員 5,286人  
(同-805人、-約13%)
- ・ 特別法犯検挙人員 983人  
(同-222人、-約18%)

- 3 その他の活動実績

- 台風15号等の災害では、被災地域における犯罪抑止活動や被災者宅訪問など、移動交番車の積極的な活用を推進
- 地域住民が不安に感じている事象や治安上の問題を把握し、自治体、関係機関及び地域住民と一体となった問題の解決に向けた各種対策を推進

課題及び方針（ACTION）

- 1 課題

- 引き続き不審者に対する積極的な職務質問による検挙活動等を推進する必要がある。
- 地域住民に安全・安心を実感してもらうため、引き続き地域に密着した活動（パトロール活動の強化や移動交番車の効果的な活用等）を推進する必要がある。

- 2 方針

- 地域の犯罪発生状況等に応じた犯罪検挙活動の推進
- 地域の実態把握と住民の安心感を醸成する活動の推進